

首題工場ハ業務縮少ノ爲メ職工四十名ノ解雇ヲ決定シ既  
ニ三十五名ニ對シ解雇言渡シ爲シタルニ被解雇職工二十三名  
ハ總同盟ノ應援ヲ得テ復職運動中ナル者既報ノ處其後  
ノ状況左記ノ通り

一 爭議団ノ行動

九月一日幸島町ニ一変家ヲ借受ケ本部トナシ解雇職  
工並ニ鉄工組合幹部等約二十五名寄々集合シ居リテ  
二日午後二時頃被解雇職工ニ階堂政市外二名ハ會社ニ出  
頭清岡事務ト會見シテ値下及對解雇者復職ヲ歎願  
セルモ考慮ノ余地ナシト拒絶セラレタルカ其後被解雇職  
工二十余名ハ退場職工ヲ擁シ「全従業員参加セヨ」ト記載ビラ  
ヲ交付シテ次記演說會ニ参加方ヲ勧誘シタルモ大部分ハ其後吹

宅セリ

一 隅田川精鉄所従業員大會並ニ爭議真相發表演  
說會

二日夜隅田町五一名寄席隅田館ニ於テ題記集會ヲ  
開ク參會者約二二〇名(内隅田精鉄所職工約八〇名其他ハ各  
友誼團體員及附近職工)ニシテ若本勝馬議長トナリ挨拶  
ヲ爲シ並テ議事ニ入り不當賃銀三割値下ノ件及不當解雇  
ニ關スル件ニ就キ満場一致及對スルコトニ決議シ交渉委員  
六名ヲ舉ケ別記(一)要未書ヲ作り三日會社ニ提出スルコトヲ  
協定シ引續演說會ニ移リ内田藤七、外十三名ノ辯士須次  
登壇「會社ハ横暴ニ三割値下ト不當解雇ヲ申渡シテ其  
ノ理由トスルトコロハ事業不振ト云フニアルモ解雇者五十名ハ